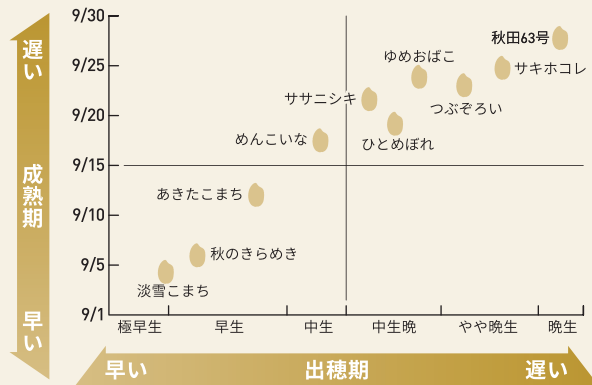


秋田米の品種特性

- ◎秋田県農業試験場水稻奨励品種決定基本調査及び秋田県稲作指導指針より作図
 ◎平成22年～令和元年の平均値、サキホコレは品種育成時の評価
 ◎種苗法に基づく品種登録稲種審査基準による評価
 ◎田植え日：5月15日、施肥窒素(N)：6-0-2kg/10a
 ◎秋田県水稻奨励品種の出穂期と成熟期は秋田県農業試験場の水稻奨励品種展示ほ場の早晩性

出穂期と成熟期

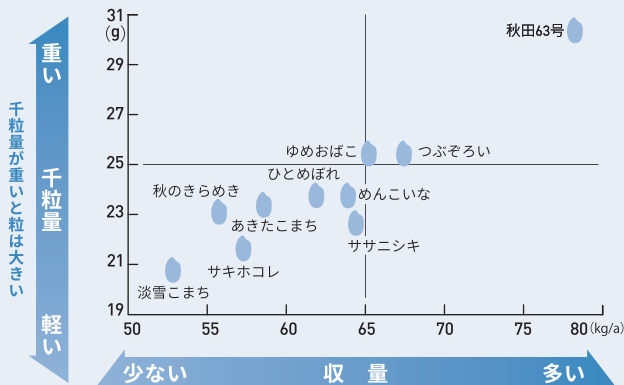


出穂期 左が早生で右が晩生の品種です

成熟期 下が早生で稲刈りが早く、上は晩生で遅くなります

- あきたこまち** 温暖化により早生の晩から早生に分類される
 【出穂期】7/28頃【成熟期】9/12頃【刈り取り】9/15頃
- サキホコレ** やや晩生の適期が変動しやすい品種。
 【出穂期】8/6頃【成熟期】9/24頃【刈り取り】9月下旬
- ひとめぼれ** 中生の晩の品種。【出穂期】8/1～3頃
ゆめおぼこ 【成熟期】9/19～21頃【刈り取り】9/25頃
- ササニシキ**
- つぶぞろい** やや晩生の品種。【出穂期】8/5頃【成熟期】9/23日頃
- めんこいな** 中生の品種。【出穂期】7/30日頃
 【成熟期】9月17日頃【刈り取り】9/20日頃
- 秋のきらめき** 極早生～早生の品種。【成熟期】9/4～6頃
淡雪こまち 【刈り取り】9月上旬～。このため、作付けは県北を中心とした中・山間地に適している
- 秋田63号** 晩生の品種。
 【出穂期】8/9頃【成熟期】9/28頃【刈り取り】10月～

収量と千粒量



収量 1.9mmの網目で選別した1aあたりです

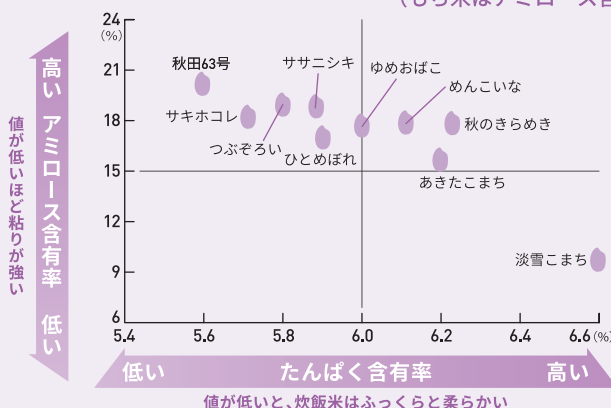
千粒量 1.9mmの網目で選別した玄米1,000粒の重さです

- あきたこまち** 収量はおおよそ57kg/aで他のうるち米よりやや少なく、千粒重もやや軽い
- サキホコレ**
- 秋のきらめき**
- ひとめぼれ** 収量は63～65kg/aで、千粒重は22～24gの品種
- めんこいな**
- ササニシキ**
- ゆめおぼこ** 収量は66kg/a、千粒重25g
- つぶぞろい**
- 淡雪こまち** 収量が少なく千粒重も小さい低アミロース品種
- 秋田63号** 大粒で千粒重が30g以上になり、多収品種

たんぱく含有率とアミロース含有率

たんぱく含有率 玄米の窒素含有率をケルダール法で分析し、窒素含有率に5.9の係数を乗じた数値です

アミロース含有率 白米のアミロース含有率です。うるち米のアミロース含有率はおおよそ15%～20%の範囲（もち米はアミロース含有率が0%）です



- あきたこまち** たんぱく含有率がやや高く、アミロース含有率は16～18%前後のうるち米
- 秋のきらめき**
- めんこいな**
- サキホコレ** たんぱく含有率が低く、アミロース含有率が18%のうるち米
- つぶぞろい**
- ひとめぼれ** たんぱく含有率が5.9%前後で、アミロース含有率は16～19%のうるち米
- ゆめおぼこ**
- ササニシキ**
- 淡雪こまち** たんぱく含有率がとても高く、アミロース含有率はとても低い低アミロース米品種の特徴を有する
- 秋田63号** たんぱく含有率が低く、アミロース含有率は20%前後